

4 植物の国内・輸出検疫調査等

(1) 検疫病害虫侵入リスク管理調査結果

ア チチュウカイミバエ

広範な生果実の大害虫として温帯各地で恐れられているチチュウカイミバエの侵入防止に関する警戒調査を4～11月の8か月間、10か所で行った。

本種は、現在まで調査場所での侵入は確認されていない。

地域	場所
北足立	大宮総合食品地方卸売市場 埼玉県地方卸売市場上尾市場 地方卸売市場鴻巣フラワーセンター
入間	埼玉川越総合地方卸売市場
児玉	上里町長浜（ナシほ場）
大里	地方卸売市場熊谷青果市場
北埼玉	地方卸売市場埼玉園芸市場 加須市鴻荃（ナシほ場）
埼葛	地方卸売市場さいたま春日部市場 越谷総合食品地方卸売市場

イ コドリングア

令和元年度から検疫有害動植物の侵入警戒調査の強化により、コドリングアの調査を開始した。

4～11月及び3月に県内5か所のなし園において、コドリングア用ルアーを用いたフェロモントラップ調査を月2回実施した結果、確認されなかった。

ウ 火傷病菌

令和元年度から検疫有害動植物の侵入警戒調査の強化により、ナシ火傷病の調査を開始した。

6～10月まで、県内7か所のなし園において月2回、目視調査を実施した結果、確認されなかった。

(2) 新規病虫害まん延防止対策調査結果

ア ウメ輪紋ウイルス (P P V)

平成 21 年 4 月に東京都青梅市のウメで、国内で初めてウメ輪紋ウイルス (*Plum pox virus* 以下 P P V) の感染が確認された。国は、国内のモモやスモモ等のサクラ属の果樹への被害を防止するため、植物防疫法 (昭和 25 年法律第 151 号) に基づく緊急防除 (防除期間を令和 3 年 3 月 31 日まで) の実施等により、本ウイルスの根絶に努めてきた。期間の終了をもって緊急防除は終了となった。

本県の清浄性確保のため、果樹生産地域の調査 (広域調査) を実施した。

(ア) 防除区域等調査 (周辺調査)

実施無し

(イ) 広域調査

a 全国調査

関係機関が連携し、緊急防除の防除区域以外の地域における感染植物の有無を確認するため、これら果樹生産地にある植物を調査した。

調査の結果、感染植物は確認されなかった。

b 住民通報

住民からの通報による P P V の感染疑い事例はなかった。

イ キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統の春季調査結果

キウイフルーツかいよう病 Psa3 系統は、平成 26 年 5 月に愛媛県において国内で最初の発生が確認された。令和 3 年 3 月現在 15 都県での発生が確認されている。

本県では、平成 27 年 12 月 25 日に定められた「キウイフルーツかいよう病の Psa3 系統の防除対策マニュアル」に基づき、調査を実施した。

本年は、小鹿野町で 1 件の疑い事例があったが検査の結果、Psa3 感染は確認されなかった。